

2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧				新			
P	条項等	内 容		P	章	条項	内 容
<b>【中表紙】</b>							
		<b>2022年度版</b> ソフトバレーボール競技規則 ソフトバレーボール小学生競技規則 (略)				<b>2023年度版</b> ソフトバレーボール競技規則 ソフトバレーボール小学生競技規則 (略)	
<b>【一般(共通)】</b>							
11	目次	第3章 試合の準備と進行 7 <b>キャプテン</b> のトス 8 <b>チーム</b> の公式ウォームアップ 9 <b>チーム</b> のラインアップシート 10 選手の位置とローテーション 10.1 位 置      10.2 ローテーション 11 競技の中断 11.1 タイムアウト      11.2 <b>選手</b> の交代 11.3 要求の方法      11.4 不当な要求 11.5 特殊な事情による試合の中断 12 コートの交替(コートチェンジ) ……		13	目次	第3章 試合の準備と進行 7 <b>トス</b> 8 <b>公式ウォームアップ</b> 9 <b>ラインアップシート</b> 10 選手の位置とローテーション 10.1 位 置      10.2 ローテーション 11 競技の中断 11.1 タイムアウト      11.2 <b>選手</b> 交代 11.3 要求の方法      11.4 不当な要求 11.5 特殊な事情による試合の中断 12 コートの交替(コートチェンジ) ……	
15	第1章			17	第1章		
15		1.1.3	競技場は、 <b>凹凸がなく、水平であり</b> (略)	17		1.1.3	競技場は、 <b>平坦かつ水平であり</b> (略)
15		1.2.3	<b>コートは、第1図のような大きさと名称を持つ各ゾーンに区画される。</b>	17			<b>削除</b>
15		<b>1.2.4</b>	すべてのラインの幅は4cm で、サービスゾーンを区画する (略)	17		<b>1.2.3</b>	すべてのラインの幅は4cm で、サービスゾーンを区画する (略)
15		1.3.1	サービスゾーンは、それぞれの <b>エンドラインの20cm後方の、両サイドラインの延長線上に引かれた長さ15cmの2本のラインによって区画される。</b>	17		1.3.1	サービスゾーンは、それぞれの <b>エンドライン後方に位置する幅6.10 mのゾーンである。サイドラインの延長上エンドラインの20cm後方に15cmの長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインはサービスゾーンに含まれる。サービスゾーンの奥行きは、フリーゾーンの端までである。</b>
15		1.3.2	ショートサービスゾーンは、センターラインの1.98 m 後方に引かれた <b>ショートサービスラインと、2本のサイドラインおよびその延長線上に囲まれたゾーン。</b>	17		1.3.2	ショートサービスゾーンは、センターラインの1.98 m 後方に引かれた <b>ショートサービスライン後方のコート内とサービスゾーンである。</b>
16		1.5	記録席 記録席は、(略) 両コートの <b>ベンチ</b> の間に設置する。	18		1.5	記録席 記録席は、(略) 両コートの <b>チームベンチ</b> の間に設置する。
16		2.1	<b>ネットは、幅80 cm</b> 、ネットの高さは2mとし、(略)	18		2.1	<b>ネットの幅は80 cm</b> 、ネットの高さは2mとし、(略)
17		3	ボールは、ゴム製で、 <b>重さ210 ± 10 g、円周78 ± 1 cm</b> の(略)	19		3	ボールはゴム製で、 <b>重さ200～220g、円周77～79cm</b> の(略)
17	第2章			19			
17		4.2	監督は、選手を兼ねることができる。ただし、 <b>選手、交代選手</b> の数が規定を超えることはできない。	19		4.2	監督は、選手を兼ねることができる。ただし、 <b>選手や交代選手</b> の数が規定を超えることはできない。
17		4.4	ファミリーの部、トリムの部、レディースの部を構成する場合は、試合中、コート内には、 <b>常に</b> 次の規定の <b>選手が存在しなければならない。</b>	19		4.4	ファミリーの部、トリムの部、レディースの部を構成する場合は、試合中コート内には、 <b>つねに</b> 次の規定の <b>選手がいなければならない。</b>

## 2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
17	4.4.1.2	チームは、監督1人、30歳以上の男女それぞれ各2人、小学生4人の最大9人でチームを構成することができる。	19		4.4.1.2	チームは、監督1人、30歳以上の男女それぞれ2人、小学生4人の最大9人でチームを構成することができる。
17	4.4.1.3	試合中、コートでは常に小学生2人と大人の男女各1人でプレーしなければならないが、小学生の性別は問わない。	19		4.4.1.3	試合中、コートではつねに小学生2人と大人の男女それぞれ1人でプレーしなければならないが、小学生の性別は問わない。
18	4.4.2.1	フリー・クラス :18歳以上の男女各2人	20		4.4.2.1	フリークラス :18歳以上の男女それぞれ2人
18	4.4.2.2	ブロンズ・クラス:30歳以上の男女と40歳以上の男女それぞれ1人	20		4.4.2.2	ブロンズクラス:30歳以上の男女と40歳以上の男女それぞれ1人
	4.4.2.3	スポレク・クラス:40歳以上の男女と50歳以上の男女それぞれ1人	20		4.4.2.3	スポレククラス:40歳以上の男女と50歳以上の男女それぞれ1人
18	4.4.2.4	シルバー・クラス:50歳以上の男女と60歳以上の男女それぞれ1人	20		4.4.2.4	シルバークラス:50歳以上の男女と60歳以上の男女それぞれ1人
18	4.4.2.5	ゴールド・クラス:60歳以上の男女各2人	20		4.4.2.5	ゴールドクラス:60歳以上の男女それぞれ2人
18	6.1.1	競技参加者は、競技規則を理解、遵守し、試合中、常にフェアプレーの原則とその精神に基づいた行動をとらなければならない。	20		6.1.1	競技参加者は、競技規則を理解、遵守し、試合中つねにフェアプレーの原則とその精神に基づいた行動をとらなければならない。
19	6.1.3	試合中、監督、交代選手は、フリーゾーン外の定められたチームチームベンチにいないなければならない。	21		6.1.3	監督と交代選手は、試合中フリーゾーン外の定められたチームチームベンチにいないなければならない。
20	第3章		22		第3章	
20	7	キャプテンのトス	22		7	トス
20	8	チームの公式ウォームアップ	22		8	公式ウォームアップ
21	9	チームのラインアップシート	23		9	ラインアップシート
21	10.1.2	サーバーがボールを打った瞬間に両チームは、サーバーを除いて(略)	23		10.1.2	サーバーによりボールが打たれた瞬間に両チームは、サーバーを除いて(略)
22	10.2.1	サービスをレシーブするチームがサービス権を得たとき、そのチームの選手は、時計回りに一つずつ位置を移動する。(略)	24		10.2.1	サービスをレシーブするチームがサービス権を得たとき、そのチームの選手は時計回りに一つずつポジションを移動する。(略)
24	11.2	選手の交代	26		11.2	選手交代
24	11.2.1	各セットの選手交代は、4回(4人)以内とする。ただし、常に第2章-4の条件を満たしていなければならない。	26		11.2.1	各セットの選手交代は4回以内とする。ただし、つねに4.4の条件を満たしていなければならない。
24	11.2.2	(略)スターティングメンバーと交代して競技に参加できるが、競技から退く場合は同じ選手としか交代できない。	26		11.2.2	(略)スターティングメンバーと交代して競技に参加できるが、コートを離れる選手と同じ選手としか交代できない。
24	11.2.3	選手交代は、2人から4人の選手を同時に交代させることもできる。	26		11.2.3	選手交代は、複数の選手を同時に交代させることもできる。
24	11.2.6	例外的な交代	26		11.2.6	例外的な選手交代
24	11.2.6.3	4回(4人)の選手交代がすでに終了し、低年齢区分の選手が負傷の場合は、(略)	26		11.2.6.3	4回の選手交代がすでに終了し低年齢区分の選手が負傷の場合は(略)
25	11.3.2	2人以上の選手交代をする場合は、要求の際その数を示さなければならない。	27		11.3.2	2人以上の選手交代をする場合は、要求の際にその数を示さなければならない。

2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
25	11.3.3	選手交代を要求したチームは、 <u>競技が再開されないうち</u> に連続して、選手交代を要求することはできない。	27		11.3.3	選手交代を要求したチームは、 <u>競技を再開せず</u> に連続して、選手交代を要求することはできない。
25	11.4.4	選手交代を、 <u>競技の再開を待たず</u> に連続して要求したとき。	27		11.4.4	選手交代を、 <u>競技を再開せず</u> に連続して要求したとき。
25	12.2	第2セットの終了後、1対1となった場合は、 <u>キャプテントスの結果により</u> コートを決める。	27		12.2	第2セットの終了後1対1となった場合は、 <u>もう一度トスを行い、その結果により</u> コートを決める。
25	12.3	最終(第3)セット、(略) 選手の <u>位置</u> は交替時のまま引き継がれる。(略)	27		12.3	最終(第3)セット、(略) 選手の <u>ポジション</u> は交替時のまま引き継がれる。(略)
26	第4章		28	第4章		
26	15	<u>得点の方法</u> 相手チームがサービスや返球に失敗したり、または他の反則をしたときは、 <u>ラリーに勝って1点を得る。また、もし相手がサービスチームであれば、サービス権も得る。</u>	28		15	<u>得点の方法</u>
26			28		15.1	相手チームがサービスや返球に失敗したり、(略)
26			28		15.2	<u>ダブルファウルのときは、得点やサービス権は変わることなくプレーのやり直しとなる。</u>
27	16.2	回復しない <u>場合には</u> 、そのチームは <u>失格となり</u> 、次のセットの開始時に回復していない場合には、その試合は没収される。	29		16.2	回復しない <u>場合</u> そのチームは <u>不完全となり、そのセットを失い</u> 、次のセットの開始時に回復していない場合にはその試合は没収される。
27	16.3	相手チームに対しては、そのセットまたはその試合の勝者になるために必要な点数が与えられ、 <u>失格になった</u> チームのそれまでに得た得点は生かされる。	27		16.3	相手チームに対しては、そのセットまたはその試合の勝者になるために必要な点数が与えられ、 <u>不完全となった</u> チームのそれまでに得た得点は生かされる。
27	16.4	年齢区分別や性別によってチームを構成しているので、(略) やむを得ない場合、 <u>高年齢区分の選手が</u> 低年齢区分の(略)	29		16.4	年齢区分別や性別によってチームを構成しているので、(略) やむを得ない場合、 <u>11.2.6の条件に基づき高年齢区分の選手が</u> 低年齢区分の(略)
27	第5章		29			
27	17.1	サービスとは、サービスゾーン( <u>あるいはショートサービスゾーン</u> )内からバックライトの選手が、片方の手または腕でボールを打ち、インプレー状態にする <u>行爲</u> である。	29		17.1	サービスとは、サービスゾーン <u>またはショートサービスゾーン</u> 内からバックライトの選手が、片方の手または腕でボールを打ちインプレー状態にする <u>動作</u> である。
27	17.3	サービス順 サービスは、(略)反則中に <u>得た点</u> は取り消され、相手チームにサービス権と1点を与えた後、正しいポジションに戻る。	30		17.3	サービス順 サービスは、(略)反則中に <u>得た点数</u> は取り消され相手チームにサービス権と1点を与えた後、正しいポジションに戻る。
28	17.3.2	<u>サービスをレシーブしたチームがラリーに勝った場合は</u> 、サービス権を得て <u>ローテーションして、バックライトに位置した選手が</u> サービスを行う。	30		17.3.2	<u>ラリーに勝ったチームがサービスをレシーブしたチームであれば</u> 、サービス権を得て <u>ローテーションし、バックライトの選手が</u> サービスを行う。
28	17.4.4	小学生の場合、(略)サーバーの身体に <u>触れない</u> で床に落ちた場合は(略)	30		17.4.4	小学生の場合、(略) サーバーの身体に <u>接触しない</u> で床に落ちた場合は(略)
28	17.4.5	サーバーは、(略) <u>触れてはならない</u> 。	30		17.4.5	サーバーは、(略) <u>接触してはならない</u> 。
28	17.4.6	「ファミリーの部」における(略) 外側に <u>触れてはならない</u> 。	30		17.4.6	「ファミリーの部」における(略)外側に <u>接触してはならない</u> 。
29	18.1	チームは、 <u>ネットを越えて</u> ボールを返すために、ブロックへの接触を除いて最大限3回プレーすることができる。	31		18.1	チームは <u>相手チームへ</u> ボールを返すために、ブロックへの接触を除いて最大限3回プレーすることができる。

2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
29	18.2	選手は連続して2回ボールに <b>触れる</b> ことはできない( <b>ブロックを除く</b> )。	31		18.2	<b>ブロックの接触を除いて</b> 選手は連続して2回ボールに <b>接触する</b> ことはできない。
29	18.3	<b>チームの第1回目打球のとき</b> 、ボールが身体の2カ所以上に連続して当たってもよい。ただし、その接触は、一つの動作中のものに限られる。	31		18.3	<b>ブロックの接触を除いてチームの第1回目打球のとき</b> 、ボールが身体の2カ所以上に(略)
29	18.4	同一チームの2人以上の選手が同時にボールに <b>触れたときは</b> 、 <b>1回触れたものとし</b> 、その後、いずれの選手も引き続いてボールに <b>触れる</b> ことができる。	31		18.4	同一チームの2人以上の選手が同時にボールに <b>接触したときは</b> 、 <b>1回接触したものとし</b> 、その後、いずれの選手も引き続いて <b>プレーする</b> ことができる。
29	18.7	両チームの選手が同時にボールに接触した後、そのボールがアンテナに <b>触れたとき</b> やアンテナ上方を通過したときは、(略)	31		18.7	両チームの選手が同時にボールに接触した後、そのボールがアンテナに <b>接触したとき</b> やアンテナ上方を通過したときは、(略)
29	19.2	アタックヒットは、(略)あるいは相手選手に <b>触れたとき</b> 、完了する。	31		19.2	アタックヒットは、(略)あるいは相手選手に <b>接触したとき</b> 、完了する。
30	20.1	ブロックとは、(略)ネットの上端より上方で阻止する <b>行為をいう</b> 。	32		20.1	ブロックとは、(略)ネットの上端より上方で阻止する <b>動作をいう</b> 。
30	20.2	ブロックは、ボールがブロッカーに <b>触れたとき</b> 完了する。	32		20.2	ブロックは、ボールがブロッカーに <b>接触したとき</b> 完了する。
30	20.8	ブロック後の第1回目の接触は、ブロックのときボールに <b>触れた</b> 選手を含めて誰にでも許される。	32		20.8	ブロック後の第1回目の接触は、ブロックのときボールに <b>接触した</b> 選手を含めて誰にでも許される。
31	21.2.1	ボールが、コート区画線の完全な外側の床に接触するか、コート外の物体に <b>触れたとき</b> 。	33		21.2.1	ボールがコート区画線の完全な外側の床に接触するか、コート外の物体に <b>接触したとき</b> 。
31	21.2.2	ボールが、ネット上方のアンテナのみに <b>触れたとき</b> 。	33		21.2.2	ボールが、ネット上方のアンテナのみに <b>接触したとき</b> 。
31	21.3.1	ネット上端(2m)の水平帯以下の支柱に <b>触れたとき</b> 。	33		21.3.1	ネット上端(2m)の水平帯以下の支柱に <b>接触したとき</b> 。
31	21.3.2	ネットとアンテナに同時に <b>触れたとき</b> 。	33		21.3.2	ネットとアンテナに同時に <b>接触したとき</b> 。
32	22.1	フットフォルトサービスボールを打った瞬間、(略)フリーゾーンに <b>触れていたとき</b> 。	34		22.1	フットフォルトサービスボールを打った瞬間(略)フリーゾーンに <b>接触していたとき</b> 。
32	22.4.2	ネットやサーバー側の選手に <b>触れたとき</b> 。	34		22.4.2	ネットやサーバー側の選手に <b>接触したとき</b> 。
33	22.9	ドリブルブロックの場合を除き、同一選手が、明らかに2度続けてボールに <b>触れたとき</b> 。	35		22.9	ドリブルブロックの場合を除き同一選手が、明らかに2度続けてボールに <b>接触したとき</b> 。
33	22.10.1	インプレー中に、ネットやアンテナに <b>触れたとき</b> 。ただし、選手がインプレー中に支柱に <b>触れて</b> もタッチネットの反則にはならない。	35		22.10.1	インプレー中にネットやアンテナに <b>接触したとき</b> 。ただし、選手がインプレー中に支柱に <b>接触しても</b> タッチネットの反則にはならない。
33	22.10.2	ネットの幅の支柱部分に <b>触れたとき</b> 。	35		22.10.2	ネットの幅の支柱部分に <b>接触したとき</b> 。
33	22.11	オーバーネットネットを越えて相手コート内にあるボールに <b>触れたとき</b> 。	35		22.11	オーバーネットネットを越えて相手コート内にあるボールに <b>接触したとき</b> 。
33	22.12	パッシングザセンターラインセンターラインを完全に越えて、相手コートに <b>触れたとき</b> 。(略)	35		22.12	パッシングザセンターラインセンターラインを完全に越えて相手コートに <b>接触したとき</b> 。(略)
33	22.13.1	ボールがコート外の物体やネット上方のアンテナのみに <b>触れたとき</b> 。	35		22.13.1	ボールがコート外の物体やネット上方のアンテナのみに <b>接触したとき</b> 。
33	22.14.2	ネット上で、両チームの選手が同時に接触し、そのボールがアンテナに <b>触れたとき</b> やアンテナ上方を通過したとき。	36		22.14.2	ネット上で、両チームの選手が同時に接触し、そのボールがアンテナに <b>接触したとき</b> やアンテナ上方を通過したとき。

2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
35	22.15.2	相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に <b>触れて</b> プレーを妨害したとき。	36		22.15.2	相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に <b>接触して</b> プレーを妨害したとき。
35	23.5	<b>暴力的な行為</b> : 実際の身体的攻撃、または攻撃的、威嚇的な行為。	37		23.5	<b>攻撃的な行為</b> : 実際の身体的攻撃、または攻撃的、威嚇的な行為。
35	24.1	警告: 罰則ではない— <b>イエローカードと口頭での警告</b> 〈第1表 不法な行為に対する罰則段階表〉 最下段の左枠内 <b>暴力的な行為</b>	37/ 38		24.1	警告: 罰則ではない— <b>口頭での警告とイエローカード</b> 〈第1表 不法な行為に対する罰則段階表〉 最下段の左枠内 <b>攻撃的な行為</b>
39	27.2.2.2	選手が、ネットやネットの幅の支柱あるいは副審側のアンテナに <b>触れた</b> 場合の反則。	41		27.2.2.2	選手がネットやネットの幅の支柱あるいは副審側のアンテナに <b>接触した</b> 場合の反則。
39	27.2.2.4	ボールが、副審側のアンテナに <b>触れるか</b> 、その外側を通過したとき。	41		27.2.2.4	ボールが副審側のアンテナに <b>接触するか</b> 、その外側を通過したとき。
39	27.2.2.5	ボールが、主審から見えない位置で外部の物体や床に <b>触れたとき</b> 。	41		27.2.2.5	ボールが主審から見えない位置で外部の物体や床に <b>接触したとき</b> 。
39	28.2	<b>試合中は、</b>	41		28.2	<b>試合中</b>
39	28.2.1	公式記録法に従って両チームの得点を記録し、点示板が <b>常に</b> 正しい得点を示しているかどうかを確認する。	41		28.2.1	公式記録法に従って両チームの得点を記録し、点示板が <b>つねに</b> 正しい得点を示しているかどうかを確認する。
39	28.2.2	両チームのサービス順を統御し、誤りがあれば <b>サービス打たれた</b> 直後、副審に合図する。	41		28.2.2	両チームのサービス順を統御し、誤りがあれば <b>サービスが打たれた</b> 直後、副審に合図する。
40	28.3	試合終了時 最終結果を記録し、自分のサインをした後、両チームキャプテン、(線審)、副審、主審、の順で署名を採録する。 <b>(線審については記録員が事前に記入してもよい)</b>	42		28.3	試合終了時 最終結果を記録し自分のサインをした後、両チームキャプテン、(線審)、副審、主審、の順で署名を採録する。
40	29.3	線審は、ボールがアンテナに <b>触れたり</b> 、その想像延長線上を通過したり、その外側を通過したとき、合図する。	42		29.3	線審はボールがアンテナに <b>接触したり</b> 、その想像延長線上を通過したり、その外側を通過したとき、合図する。
40	30.2	得点の表示は、 <b>常に</b> 公式記録用紙に従わなければならない。	42		30.2	得点の表示は、 <b>つねに</b> 公式記録用紙に従わなければならない。
40	31.3.3	主審がサービスチームを示した後に続き、サービスチームを示す。 <b>(この場合主審は、次のサービスを行うチームのみを示す。)</b>	43		31.3.3	主審がサービスチームを示した後に続き、サービスチームを示す。 <b>なお、この場合主審は、次にサービスを行うチームのみを示す。</b>

【第10 図 主審と副審の公式ハンドシグナル一般(共通)】

42		● ボールアウト 手のひらを自分の方に向け両手を上げる。 ④ 図(略) <b>他の選手や物体に当たった場合も同じ。</b>	44		● ボールアウト 手のひらを自分の方に向け両手を上げる。 ④ 図(略)
43		● ダブルファウル(ノーカウント) ⑤ 図(略) <b>11.5、18.7、22.14、26.2.2.2(d)、27.2.2.6</b>	45		● ダブルファウル(ノーカウント) ⑤ 図(略) <b>11.5、15.2、18.7、22.14、26.2.2.2(d)、27.2.2.6</b>
43		● サービスボールがネット <b>上部に触れ</b> 相手コートに入ったとき ⑧ 図(略) 22.4.2、26.2.2.2(c)	45		● サービスボールがネット <b>上部に接触し</b> 相手コートに入ったとき ⑧ 図(略) 22.4.2、26.2.2.2(c)

2023年度 ルールブック修正新旧対照表 Ver3

旧			新			
P	条項等	内 容	P	章	条項	内 容
44		<ul style="list-style-type: none"> <li>● サービスボールが<b>ネットに触れ</b>、ネットを越えないとき</li> <li>● サービスボールがサーバー側の選手に<b>触れたとき</b></li> <li>● サービスボールがサーバー側のコートの床に接触したとき</li> </ul> ⑨ 図(略) 22.4.2、22.4.3、26.2.2.2(b)	46			<ul style="list-style-type: none"> <li>● サービスボールが<b>ネットに接触し</b>、ネットを越えないとき</li> <li>● サービスボールがサーバー側の選手に<b>接触したとき</b></li> <li>● サービスボールがサーバー側のコートの床に接触したとき</li> </ul> ⑨ 図(略) 22.4.2、22.4.3、26.2.2.2(b)
44		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワンタッチ</li> </ul> ⑪ 図(略) <b>選手に触れた</b> ボールが、その選手側でボールアウト 26.2.2.2(b)	46			<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワンタッチ</li> </ul> ⑪ 図(略) <b>選手に接触した</b> ボールが、その選手側でボールアウト 26.2.2.2(b)

【小学生競技規則】

55	1.3	ボール 第1表 円周 小学4年生以下用 <b>78±1cm</b> 小学5～6年生用 <b>78±1cm</b>	57	1.3	ボール 第1表 円周 小学4年生以下用 <b>77cm～79cm</b> 小学5～6年生用 <b>77cm～79cm</b>
55	2	<b>チームのラインアップシート</b>	57	2	<b>ラインアップシート</b>
56	3.2	小学校4年生以下の(略)ゾーンの外側に <b>触れ</b> てはならない。	58	3.2	小学校4年生以下の(略)ゾーンの外側に <b>接触し</b> てはならない。
56	3.3	サービストスしたボールがサーバーの身体に <b>触れ</b> ないで(略)	58	3.3	サービストスしたボールがサーバーの身体に <b>接触し</b> ないで(略)

【付録1 公式記録記入法】

57		■試合前 (トス後、最初のサービス開始前)  ② 監督またはキャプテンの欄に監督またはチームキャプテンのサインを採録する。各チームのポジションシートの中央の○の中にA、Bを記入する。第1セットの試合経過欄の上部、A、Bの <b>サービス・チーム</b> に○をつける。	59		■試合前 (トス後、最初のサービス開始前)  ② 監督またはキャプテンの欄に監督またはチームキャプテンのサインを採録する。各チームのポジションシートの中央の○の中にA、Bを記入する。第1セットの試合経過欄の上部、A、Bの <b>サービスチーム</b> に○をつける。
58		■試合中 (1) サーバーと得点  ⑥ タイムアウトの要求があった場合、そのチームのT - SUB 欄のその時の得点枠に <b>①</b> を記入する。(第2図) <第2図 タイムアウト・ <b>選手交代</b> の記入の仕方>	60/ 61		■試合中 (1) サーバーと得点  ⑥ タイムアウトの要求があった場合、そのチームのT - SUB 欄のその時の得点枠に <b>①と回数</b> を記入する。(第2図) <第2図 タイムアウト・ <b>選手交代</b> の記入の仕方>

【プロトコール】

61		<試合開始前> 11分前 チーム  監督(チームキャプテン)は、記録席に行き、記録用紙の構成メンバーを確認し <b>サイン</b> する。チームキャプテンはトスを行う。 全ての選手はユニフォーム姿で待機する。	63		<試合開始前> 11分前 チーム  監督(チームキャプテン)は、記録席に行く。チームキャプテンはトスを行う。 監督またはチームキャプテンは、トスの後に、記録用紙の構成メンバーを確認し <b>サイン</b> する。 全ての選手はユニフォーム姿で待機する。
61		<試合開始前> 11分前 主審・副審  主・副審は、両チームの監督(チームキャプテン)を <b>記録用紙へのサインのため記録席に導く</b> 。 主審は、記録席前で、副審を立ち合わせて <b>トスを行う</b> 。	63		<試合開始前> 11分前 主審・副審  主・副審は、両チームの監督(チームキャプテン)を <b>記録席前に導く</b> 。 主審は、記録席前で、副審を立ち合わせて <b>チームキャプテンによるトスを行った後、監督(チームキャプテン)から記録用紙にサインをもらう</b> 。